

## 期中財務報告書における注記

期中財務報告書における注記情報は「精選された」注記であり、年度の注記に比べて開示が要求される項目は少ないことが想定される。IAS 34号で求められる注記は、直近の年次報告期間の末日後の財政状態の変動および業績を理解するうえで「重要な事象および取引」（図表3）と、注記に含めなければならぬとされている「その他の開示」（図表4）の大きく2つに分かれている。「その他の開示」の情報は、通常、期首からの累計ベースで報告する必要がある（IAS 34号16A項）。

さらに、これらの注記以外に、企業がIAS 33号「1株当たり利益」の適用対象となる場合には、期中報告期間に係る純損益の構成要素を表示する計算書において、企業は当該期間に係る基本的1株当たり利益および希薄化後1株当たり利益を表示することが求められている（IAS 34号11項）。また、企業の期中財務報告書がIAS 34号に準拠している場合は、その旨を開示することが求められている（IAS 34号19項）。

(図表4) 「その他の開示」に関する注記(IAS34号16A項)

①	期中財務諸表において直近の年次財務諸表と同じ会計方針と計算方法を採用している旨、または、それらを変更している場合には、その変更の内容および影響の説明
②	期中の営業活動の季節性または循環性についての説明的コメント
③	資産、負債、資本、純利益またはキャッシュ・フローに影響を与える事項で、その性質、規模または頻度からみて異例な事項の内容および金額
④	当事業年度の過去の期中報告期間に報告された金額の見積りの変更または過去の事業年度に報告された金額の見積りの変更の内容および金額
⑤	負債証券および持分証券の発行、買戻し、および償還
⑥	普通株式とその他の株式の各々に対する配当金(合計額または1株当たりの金額)
⑦	次のセグメント情報(期中財務報告書でのセグメント情報の開示は、IFRS8号「事業セグメント」によって当該企業が年次財務諸表中にセグメント情報を開示しなければならない場合)にのみ必要である (i) 外部顧客からの収益(最高経営意思決定者によりレビューされるセグメント純損益の測定値に含まれている場合、あるいは、最高経営意思決定者に定期的に提供されている場合) (ii) セグメント間収益(最高経営意思決定者によりレビューされるセグメント純損益の測定値に含まれている場合、あるいは、最高経営意思決定者に定期的に提供されている場合) (iii) セグメント純損益の測定値 (iv) 特定の報告セグメントに係る資産合計および負債合計の測定値(当該金額が最高経営意思決定者に定期的に提供されており、直近の年次財務諸表で当該報告セグメントについて開示した金額から重要な変動のあった場合) (v) セグメントに区分する基礎またはセグメント純損益の測定基礎について直近の年次財務諸表からの相違点に関する記述 (vi) 報告すべきセグメントの純損益の測定値の合計額と、企業の法人所得税等および非継続事業による累積的影響額前の損益との調整。ただし、企業が法人所得税等といった項目を報告すべきセグメントに配分している場合には、企業はセグメントの純損益の測定値の合計とこれらの項目調整後の損益とを調整することができる。重要性がある調整項目は、当該調整表において個別に識別して記載しなければならない。
⑧	当期中報告期間に係る期中財務諸表に反映されていない期中報告期間後の事象
⑨	企業結合、子会社および長期投資に対する支配の獲得または喪失、リストラクチャリング、ならびに非継続事業など、期中報告期間における企業の構成の変化の影響。企業結合の場合、企業は、IFRS3号「企業結合」で要求されている情報を開示しなければならない。
⑩	金融商品について、IFRS13号「公正価値測定」の91項から93項(h)、94項から96項、98項および99項、ならびにIFRS7号「金融商品:開示」の25項、26項および28項から30項で要求されている公正価値に関する注記
⑪	投資企業(IFRS10号「連結財務諸表」で定義)となった企業または投資企業ではなくなった企業について、IFRS12号「他の企業への関与の開示」9B項の開示
⑫	顧客との契約から生じる収益の分解(IFRS15号「顧客との契約から生じる収益」の114項から115項で要求されている)

### 第4章

# IFRSでは開示項目が増加傾向 日本基準との開示の相違点

#### 【この章のエッセンス】

●日本基準では、四半期の持分変動計算書の開示は求められておらず、また、キャッシュ・フロー計算書の開示も第1、3四半期は省略できるが、IFRSではそれぞれ開示が要求される。

●金融商品の開示が求められるなど日本基準よりも注記量が多くなる傾向がある。